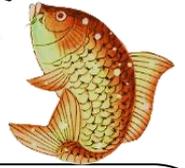




令和4年3月1日選定

# 図書館員が選ぶおすすめの本

## ～中学年向け（小3,4）～



### 「よわいかみ つよいかたち

かこ・さとしかがくの本8」

かこ・さとし // 著・絵 童心社



たて半分に切ったハガキを2冊の本の間にわたして橋にします。この上に、10円玉は何個のせられると思いますか？そのまま真ん中にのせると3個。でもそのハガキを折って形を変えると・・・？

### 「小さなバイキング ビッケ」

ルーネル・ヨンソン // 作 エーヴェット・カールソン // 絵 石渡利康 // 訳 評論社



おそろしい海ぞく、バイキングの子どもビッケは、けんかがきらい。力ではなく、知恵でたかいます。小さくたって大かつやくのビッケのぼうけん物語。ほかに『ビッケと赤目のバイキング』『ビッケのとおき大作戦』などもあり、6巻シリーズです。

### 「ゴハおじさんのゆかいなお話 エジプトの民話」

デニス・ジョンソン・デイヴィーズ // 再話 ハグ・ハムディ・モハンメッド・ファトゥーフとハーニ・エル・サイド・アハマド // 絵 千葉茂樹 // 訳 徳間書店



ゴハおじさんは、ときにまぬけ、ときにかしこいエジプトのおじさん。市場で買ったものをした帰り、重い荷物をのせたロバがかわいそうになり・・・。ゴハおじさんのわらいばなし、とんちばなしが15話入っています。

### 「妖怪一家 九十九さん」

富安陽子 // 作 山村浩二 // 絵 理論社



九十九は「つくも」と読みます。九十九さん一家はヌラリヒョン、ろくろっ首、やまんば、見越(ミコ)し入道、一つ目小僧(コゾウ)、アマノジャク、サトリの七ようかい。化野原(アダシハラ)団地の地下12階に住んでいます。どうして団地なんかに住んでいるかって？まあ、それは・・・。

### 「石の卵」

山田英春 // 文・写真 福音館書店



「石の卵」ってなんでしょう？中から石がうまれてくる卵？まっぶたつに切ると・・・。ふしぎ、ふしぎ、こんなの見たことない。まるで「ドラゴンの卵」です。石の卵の中はどうなっているのか、それがどうやってできたのか、ぜひ読んでみてください。

### 「オオカミ王ロボ シートン動物記」

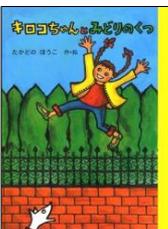
アーネスト・T・シートン // 文・絵 今泉吉晴 // 訳・解説 童心社



強大な力で谷をしいするハイロオオカミ、ロボ。シートンはロボをつかまえようとしますが、とてもかしこくて、なかなかつかまりません。やがて、ロボが持つなかまへの深いあいじょうに気づくシートンですが・・・。すこしせつないお話です。

### 「キロコちゃんとみどりのくつ」

たかどの ほうこ // 作・絵 あかね書房



キロコちゃんは、目と口とベロのついたみどり色のヘンテコなくつに出会いました。それは、はくとかってに動きだす、しかも、ちょっとわがままでおてんばなくつなんです。さあ、キロコちゃん、どうなる？

### 「たべものくらべっこえほん」

柳沢幸江 // 監修 高岡昌江 // 文 すがわらけいこ // 絵 学研教育出版



バターとマーガリン、シャーベットとアイスクリーム、てんぷらとフライとからあげ、どうちがうか知っていますか？これを読めば、わかります。わたしの長年のぎもん、ビスケットとクッキーのちがいも、やっとわかりました。

※対象年齢は目安です。



那須塩原市の図書館

